

支持者訪問の地図作成開始!!

正林 民雄

3年前の正月に、九品寺の居屋敷緑地に面する選挙事務所に居ました。

7月の参議院選挙後、8月盆には2023年市議会議員選挙の支持者訪問開始。

この春は帯山校区と帯山西校区の200世帯ごと住宅地図作成を始めます。



狭かった電停が
どんどんバリアフリーに!!

丸野 純哉

よく市電を利用しています。昔は狭かった電停が、車いすが利用できるようにどんどん改修されています。電車や電停のバリアフリー化に取り組んできた村上さんのおかげです。あと1年と2ヶ月後は熊本市議会議員選挙。6期目当選をめざして、がんばります。



勉強会から繋がったフォスタリング機関!!

岡 節也

今から4年前、村上さんの勉強会で、全国都道府県市別の里親委託率の全国順位や厚労省訪問、浜松市、静岡市、川崎市の児童相談所訪問、里親問題、SSW問題の報告議論が有りました。このような勉強会を通して、村上さんの長年の取り組みが「令和3年度」の予算で、熊本市初の里親の「フォスタリング機関委託事業」に繋がり、事業がスタートしました。

今後も里親制度の正しい情報の発信と支援をお願いします。

※ 熊本市令和3年度熊本市予算

○里親制度普及、委託推進事業 3.959千円

○里親養育包括支援「フォスタリング事業」56.000千円

事務局員の
決意

村上さんを囲み、
ひろしの輪を更に広める!!

野田 邦治

今年の目標を「仲間を組織する」と決めました。自分の住むマンションで村上さんを囲み、話し合いの場を必ず作りたい。「ひろしの輪」を更に広め、人々の要望を市政と結びつける動きを作りたい。

会費や寄付でまかなう村上ひろしの活動

中嶋 康普

皆様から会費や寄付金を頂いておりますことに会計担当として改めてお礼申し上げます。村上ひろしの活動のほとんどは皆様からの会費や寄付金で賄っています。今後ともご支援よろしく願いいたします。

村上ひろしに心から共感、
共に歩む!!

桑本 謙

『村上ひろしは、「あなたの声を市政に届けます!」を信条として、厳しい暮らしの中で生きる人たちの声を大切に、市政の改革に取り組んでいます。私はそんな村上ひろしに心から共感し、これからも共に歩んでいきたいと思っています』

会費納入のお願い

新年を迎えましたが、漫然とその喜びのみを楽しめる事態でないのは残念です。日本や世界の経済状況も明るさは見えず、本年も気を引きしめながら日常生活に臨む気構えが必要です。

「村上ひろしと市民ネットワーク」は、常に清廉な活動を心掛け、収支も明確にしながら、報告会、講演会、市民相談などを行って参りました。

昨年、本年共にコロナによる活動制限があり、本会の全てをお示しできませんが、そんな事でも市政運営に可能な限り貢献して行きたいと思っております。また、村上博の政治活動は市民の皆様にご喜んで頂いている事実は別紙報告にも表れています。

このような時こそ、村上博のような地道な活動が生きてくると考えます。

さて、毎年のことで申し訳ありませんが、村上博と本会の活動を支える為の会費やご寄付のお願いをさせていただきます。大変な時期に申し訳ございませんが宜しくご高配お願い申し上げます。

「村上ひろしと市民ネットワーク」会長
吉住 眞

あなたの声を市政に届けます!

人の輪だより

村上ひろしと市民ネットワーク「後援会」

〒862-8601 熊本市中央区手取本町1-1

TEL (096) 328-2650

FAX (096) 324-7777



ごあいさつ

村上 博



新年おめでとございます。これまで年が改まるたびに、日本中の誰もが新たな気持ちで、希望を抱きながら迎えていた新年ですが、この3年間というものの新型コロナの感染で心穏やかに新年を迎えることができません。

さらに、昨年「オミクロン株」の感染拡大が世界中に広がり、なおさら憂うつな新年の始まりです。しかし、大正7年(1918年)の夏から秋にかけ、ヨーロッパを中心に世界中に猛威を振るった「スペイン風邪」など、どんなに猛威をふるった疫病でも、人類はそれら困難な状況を乗り越えてきました。

現在、歴史的な経験の真ただ中で必死に頑張っているエッセンシャルワーカーの姿など、数百年後の後世の人たちから称賛されることでしょう。希望を持って頑張って生きましょう!!

本年もどうぞよろしく願いいたします。



村上ひろしと市民ネットワーク「後援会」会長
吉住 眞



明けましてお目出とございます。と本年こそ心から言いたかったのですが、又、コロナ(オミクロン株)の脅威にさらされながらの年明けになってしまいました。

しかし、私たち人間は、今までも多くの災害や疫病と遭遇し、それを乗り越えてきた歴史を有しています。もう少し耐えて負けずに頑張れば光明が見えてくるはず。政界でも多くの黒い噂や不祥事も見聞しますが、村上博はそのような噂を周囲に立たせることなくクリーンな議員生活を送っています。

本年も村上博は、我々事務局と共に、又、会員や支援者の皆様のご協力を頂きながら市民の為の活動を貫くよう努力して参ります。

今年もご支援、ご指導を宜しくお願い致します。



今年も村上さんの行動力に期待!!

村上さんは必要不可欠な人



村上さんとは障害者政治ネット入会以来、ホテル東横インの偽装問題、阿久根市長の障害者差別、ひろしま菓子博電動車いす入場制限、佐賀市役所障害者採用時の差別的取り扱い、熊本地震における障害者の現状改善、浦上駅の仮設エレベータ未設置問題、中央省庁等における障害者雇用増し問題、水俣市役所仮庁舎バリアフリー問題など、直面する多くの課題に共に悩み、汗をかき、涙を流し、時には湯気を立てて憤る同士であり、兄のような存在です。国連障害者権利条約を批准し、法整備が進む中で、差別的な事象が明らかになっていると感じています。村上さんは熊本市議会のみならず、障害者政治ネット事務局としても必要不可欠な人です。どうぞ、引き続きの力強いご支援をよろしくお願いいたします。

古庄和秀(障害者政治ネット事務局長、大牟田市議会議員)



新しい年が始まりました 子どもたちが安心して暮らせる街を

私はすでに30年近い歴史を持つ、バリアフリーデザイン研究会のメンバーです。村上さんは、創設メンバーです。これまで、車椅子や様々な障害を持つ方たちが暮らしやすい街づくりのために数々の場で活躍されてきました。ひいては、熊本に暮らす人々にとって、やさしい街になっています。

昨年は、熊本CSの会(化学物質過敏症の患者会、私も会員です。)のお話を、熱心に聴いていただき、市議会で支援対策の質問をされました。

2022年は、化学物質過敏症の人たちが、特に、子どもたちが、安心して暮らせる街を目指して、共に活動をしていただけるものと、期待しております!

巻 京子(バリアフリーデザイン研究会)



住み続けられる まちづくりのために

村上ひろしさんとの出会いは、昨年8月7日の豪雨による浸水被害で、私が旧知の元市議会議員に相談し、村上さんを紹介されたのがきっかけでした。

村上さんは、早速、住宅の被害状況・排水路等の実態を踏査されました。そして、9月議会の一般質問で防水対策を質問されたことで、排水路の除草、市担当者による現地調査に繋がりました。気候変動で豪雨が増加する予測を踏まえ、今後の水害防止対策が「抜本的な河道整備・排水機場の機能強化」と「既存の排水路・遊水池等の日常的点検と改善」等の取り組みとなるよう、今後もお力添えください。

これからも「市民の声を議会に届けて行政に反映させる」との政治信条の下「住み続けられるまちづくり」のために益々のご活躍をお祈りいたします。

松崎保治(出水7丁目 長溝団地)

解決への大きな一歩!!

私が村上市議と出会うきっかけは昨夏の豪雨です。私が住む町内はもとも水田地帯で、町内や周辺には用水路が多く、大雨が降ると冠水する道路もあります。特に昨夏の豪雨では、家屋の浸水や車の故障の被害もあり、そんな現状を聞いた村上市議が、私たち住民の話に真剣に耳を傾けて下さいました。

これまで、市に改善を申し入れましたが、問題が大きすぎるのか、ほとんど何もなされてきませんでした。しかし村上市議は、不安を抱えて生活している私たちの気持ちを受けとめ、用水路の除草を手配し、議会の一般質問でも取り上げて下さいました。この問題の解決には長い年月がかかると思いますが、そのための大きな一歩になったと思います。

これからも市民の声に耳を傾け、一緒に歩んでいただけることを期待しています。

増田圭司(出水7丁目)

障害者運動をアシストするひろしさん

私は普段、障害者自立生活センターで活動しています。自立生活センターは全国各地にあり、各地域で社会を良くするための運動をしています。ここ数年で分かったことですが、熊本市は全国に比べて、圧倒的に運動を展開しやすいのです。

全国のセンターと何が違うか。最大の理由は、当事者議員が居るか居らないかです。村上さんはこれまで、公共施設のバリアフリー化について、障害者と行政が意見交換を行う場の設定、障害者の在宅の入浴支援は、週3回までと決められていたガイドラインの改善、バリアフリーマスタープランへの当事者参画など紹介しきれないほど私たちの運動をアシストしてくれました。これからも私たちと連携して熊本市を誰もが住みやすい市にしてください。

植田洋平(ヒューマンネットワーク熊本)

化学物質過敏症患者への 公的支援拡充を期待します!

私は化学物質過敏症(Cheical Sensitivity:CS)の当事者として、熊本市を中心に患者会活動をしています。この病気は誰でも発症する可能性がある病気なのですが、社会的認知度が低いために周囲から理解されにくく、専門医療機関も九州には無いため、何十年の間、孤立し、孤独に暮らしている患者さんにも多く会いました。

生活環境中のごく微量な化学成分に反応し、体調を崩すこの病気は、発症者が全国的に増加傾向にあり、子どもたちにとっても深刻な問題です。

村上さんはこの厳しい現状に共感し、昨年9月の議会でCS患者に寄り添った質問をされました。この質問は、熊本市内は勿論のこと、全国の患者さんにとって一つの光になりました。

環境病とも言える化学物質過敏症の患者は、炭鉱のカナリアになぞらえ、現代社会のカナリアとも呼ばれます。カナリアたちが安心して暮らし、学び、働ける環境の構築は、まだ発症していない方々の健康にも寄与すると考えます。そんなカナリアたちの声に丁寧に耳を傾ける村上さんを、これからも応援したいと思います。

今村 良(化学物質過敏症患者会 くまもとCSの会 共同代表)



日本一子育てしやすい 熊本市に!!

「熊本市を日本一子育てがしやすい市にしたい」…村上議員のこの熱い思いに、とても共感しています。子育てがしやすい、安心して子育てができる環境は、私たち大人にとっても安心できる環境に繋がるものと思います。その環境の整備のために、教育、福祉を含め、様々な分野の課題に取り組まれている姿は、当事者から直接話を聞かれ、現場に足を運び、現状の様子や思いを肌で感じられています。そして当事者の声を行政へしっかりと届けて頂き、とても頼りになり、今後の村上さんの活躍をさらに期待しています。

田中一幸(里親専門相談員・きらきら)

これからも子ども目線の取り組みを!!

私は、NPO法人優里の会(ゆりのかい)で子どものための里親制度普及啓発と里親宅で暮らす子どもたちと里親の支援を行っています。

村上市議には、市政の課題、特に子どもの問題の解決・解消に期待します。昨今、子どもの貧困や虐待、不登校・いじめ、ヤングケアラーなどさまざまな問題が生じています。これまで子どもの問題の解決のために、村上市議は熊本市児童相談所の設置、SSW(スクールソーシャルワーカー)の配置などに熱心に取り組んでいただいています。

子どもは社会の宝です。子どもの未来を作るのは、私たち大人の責任です。これからも、子どもの目線に立った取り組みに期待します。

八谷 斉 (NPO法人 優里の会 副理事長)



村上さんは出会いを広げてくれるキーマン

こんにちは、菊池市議の猿渡です。村上さん主催の学習会に参加して、村上さんの「輪」につながらせてもらっています。この学習会の開始は午後7時。熊本への道は混んでるし、暗い。老眼の身の運転は辛いところもありますが、村上さんは「どの日が都合がよいですか」と聞いて来られるので、参加しない訳にはいきません。

でも、決して!! しぶしぶ参加している訳ではありませんよ。その輪の中で、困難を抱える子どもたちを現場で支援している方々に出会うことができました。現場の方々の話は宝です。

村上さんは私にとって、出会いを広げてくれるキーマンです。

今年もCD鳴らして愛車で駆けつけますので、どうぞよろしくお願いいたします。

猿渡美智子(菊池市議会議員)

小さな声に耳を傾ける村上さん

2021年もコロナ感染拡大の影響を大きく受けた一年でした。私が働く教育現場でもオンライン授業や子どもたちへの個別対応など拡大防止のための様々な対策や手立が続いた一年でした。

しかし、このような現場の小さな声はなかなかかわかってもらえず、はがゆく思う日々です。そんな小さな声にいつも真剣に耳を傾け、「どうにかできないか」と、持ち前の行動力で動いてくださる村上博さんに、いつも力をもらっています。

今年も笑顔で、たくさんの小さな声を議会に届けてくださることを期待しています。

Y・M(友人)